



## 2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3765 URL <https://www.gungho.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650  
定時株主総会開催予定日 2024年3月28日 配当支払開始予定日 2024年3月12日  
有価証券報告書提出予定日 2024年3月28日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期の連結業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	125,315	18.8	27,880	0.8	29,308	1.1	16,433	△13.6
2022年12月期	105,505	0.8	27,649	△15.7	28,985	△13.8	19,022	△16.9

(注) 包括利益 2023年12月期 23,619百万円 (△1.4%) 2022年12月期 23,963百万円 (△7.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	272.65	270.20	13.4	18.3	22.2
2022年12月期	305.61	303.48	16.9	20.2	26.2

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	168,045	149,495	75.9	2,127.98
2022年12月期	152,210	132,834	77.0	1,894.36

(参考) 自己資本 2023年12月期 127,463百万円 2022年12月期 117,250百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	20,514	△14,610	△7,033	109,648
2022年12月期	18,660	△2,795	△9,265	109,676

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	1,856	9.8	1.7
2023年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	1,796	11.0	1.5
2024年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2024年12月期の配当額は未定であります。

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年12月期	87,255,916株	2022年12月期	91,199,116株
2023年12月期	27,357,153株	2022年12月期	29,304,473株
2023年12月期	60,275,198株	2022年12月期	62,242,781株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年12月期の個別業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	48,128	△18.4	10,499	△38.2	11,139	△37.4	7,494	△18.0
2022年12月期	58,986	△11.5	16,995	△26.9	17,797	△25.1	9,144	△50.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期	124.34	123.22
2022年12月期	146.92	145.89

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2023年12月期	105,370	99,194	99,194	92.9	92.9	1,634.31	1,634.31	
2022年12月期	105,314	98,388	98,388	92.4	92.4	1,571.35	1,571.35	

(参考) 自己資本 2023年12月期 97,893百万円 2022年12月期 97,258百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料等については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。
- ・2024年2月14日（水）・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(修正再表示)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済環境については、新型コロナウイルス感染症の影響による停滞から徐々に回復し、人々の往来が活発になりつつある一方、世界的な物価高騰や不安定な国際情勢、為替相場の変動などにより、依然先行き不透明な状況が継続しました。

このような状況の中、当社では引き続きグローバル配信を見据えたゲーム開発に注力するとともに、既存タイトルの価値最大化を図るため各ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大やゲームブランドの強化に取り組んでまいりました。

「パズル&ドラゴンズ」（以下「パズドラ」）に関しましては、より多くの皆さまに「パズドラ」を長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新要素の追加や大感謝祭をはじめとするイベントの開催、他社有名キャラクターとのコラボレーションなどの取り組みを継続してまいりました。また、2023年12月5日には「パズドラ」シリーズの最新作「パズル&ドラゴンズ ストーリー」がApple Arcadeより全世界150カ国以上に配信開始されました。Nintendo Switch™向け対戦ニンジャガムアクションゲーム「ニンジャラ」は、新コンテンツの追加やテレビアニメの放送、オフラインイベントの開催など、包括的な取り組みを実施することで、若年齢層を中心に好調なアクティビティを維持してまいりました。

また、子会社の事業につきまして、Gravity Co., Ltd. 及びその連結子会社が配信しているRagnarok関連タイトルは、新作タイトルのリリースや既存タイトルのアップデート、及びイベントの開催を継続的に実施してまいりました。なかでも2023年4月に東南アジア地域向けに配信が開始されたスマートフォン向けMMORPG「Ragnarok Origin」については、好調な売上が記録し連結業績にも大きく寄与しました。

この結果、当連結会計年度における売上高は125,315百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益27,880百万円（前年同期比0.8%増）、経常利益29,308百万円（前年同期比1.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益16,433百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における資産合計は、168,045百万円（前連結会計年度末比15,835百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債合計は、18,550百万円（前連結会計年度末比825百万円減少）となりました。これは主に、買掛金が減少したことによるものであります。

純資産合計は、149,495百万円（前連結会計年度末比16,660百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」）は前連結会計年度に比べ27百万円減少し、当連結会計年度には109,648百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は20,514百万円となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益29,729百万円及び法人税等の支払額7,899百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用された資金は14,610百万円となりました。

これは主に定期預金の預入及び払戻による支出（純額）9,366百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用された資金は7,033百万円となりました。

これは主に自己株式の取得による支出（純額）5,015百万円及び配当金の支払額1,854百万円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当面は日本基準を適用することとしております。

なお、国際会計基準の適用に関しましては今後の国内外の諸情勢を考慮し、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	125,950	136,198
売掛金及び契約資産	12,987	13,379
有価証券	1,258	3,835
商品	13	23
仕掛品	0	—
その他	1,612	2,599
貸倒引当金	△34	△69
流動資産合計	141,788	155,967
固定資産		
有形固定資産合計	992	1,240
無形固定資産		
ソフトウェア	215	316
その他	205	186
無形固定資産合計	420	502
投資その他の資産		
投資有価証券	138	0
繰延税金資産	5,366	5,604
その他	3,503	4,730
投資その他の資産合計	9,008	10,334
固定資産合計	10,421	12,077
資産合計	152,210	168,045

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,136	5,616
1年内返済予定の長期借入金	181	—
未払法人税等	2,717	2,913
賞与引当金	23	—
その他	7,865	8,963
流動負債合計	17,924	17,493
固定負債		
長期借入金	308	—
退職給付に係る負債	5	10
その他	1,136	1,046
固定負債合計	1,450	1,056
負債合計	19,375	18,550
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,487	5,487
利益剰余金	195,829	198,415
自己株式	△90,157	△83,168
株主資本合計	116,498	126,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	—
為替換算調整勘定	752	1,390
その他の包括利益累計額合計	752	1,390
新株予約権	1,130	1,300
非支配株主持分	14,453	20,731
純資産合計	132,834	149,495
負債純資産合計	152,210	168,045

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
売上高	105,505	125,315
売上原価	47,084	68,344
売上総利益	58,420	56,971
販売費及び一般管理費	30,771	29,090
営業利益	27,649	27,880
営業外収益		
受取利息	458	1,241
為替差益	799	177
助成金収入	23	9
その他	78	25
営業外収益合計	1,360	1,454
営業外費用		
支払利息	16	21
自己株式取得費用	2	1
その他	6	3
営業外費用合計	24	27
経常利益	28,985	29,308
特別利益		
関係会社株式売却益	—	682
特別利益合計	—	682
特別損失		
減損損失	47	186
投資有価証券評価損	—	75
特別損失合計	47	261
税金等調整前当期純利益	28,937	29,729
法人税、住民税及び事業税	8,947	7,779
法人税等調整額	△2,325	△208
法人税等合計	6,622	7,571
当期純利益	22,315	22,157
非支配株主に帰属する当期純利益	3,293	5,723
親会社株主に帰属する当期純利益	19,022	16,433



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期純利益	22,315	22,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	1,648	1,460
その他の包括利益合計	1,648	1,461
包括利益	23,963	23,619
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	19,743	17,071
非支配株主に係る包括利益	4,220	6,547

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,338	5,487	181,675	△85,172	107,329
会計方針の変更による 累積的影響額			△1,021		△1,021
会計方針の変更を反映した 当期首残高	5,338	5,487	180,654	△85,172	106,308
当期変動額					
剰余金の配当			△3,830		△3,830
親会社株主に帰属する 当期純利益			19,022		19,022
連結子会社株式の取得 による持分の増減					—
新株予約権の行使		△16		39	23
自己株式の取得				△5,025	△5,025
自己株式の処分		△0		0	0
自己株式の消却					—
利益剰余金から資本剰余金 への振替		16	△16		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	15,175	△4,984	10,190
当期末残高	5,338	5,487	195,829	△90,157	116,498

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	0	31	31	1,039	10,272	118,672
会計方針の変更による 累積的影響額						△1,021
会計方針の変更を反映した 当期首残高	0	31	31	1,039	10,272	117,651
当期変動額						
剰余金の配当						△3,830
親会社株主に帰属する 当期純利益						19,022
連結子会社株式の取得 による持分の増減						—
新株予約権の行使						23
自己株式の取得						△5,025
自己株式の処分						0
自己株式の消却						—
利益剰余金から資本剰余金 への振替						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△0	721	720	91	4,181	4,993
当期変動額合計	△0	721	720	91	4,181	15,183
当期末残高	△0	752	752	1,130	14,453	132,834

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,338	5,487	195,829	△90,157	116,498
会計方針の変更による 累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した 当期首残高	5,338	5,487	195,829	△90,157	116,498
当期変動額					
剰余金の配当			△1,856		△1,856
親会社株主に帰属する 当期純利益			16,433		16,433
連結子会社株式の取得 による持分の増減					—
新株予約権の行使		△2		16	13
自己株式の取得				△5,016	△5,016
自己株式の処分		△0		0	0
自己株式の消却		△11,988		11,988	—
利益剰余金から資本剰余金 への振替		11,991	△11,991		—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	2,586	6,988	9,574
当期末残高	5,338	5,487	198,415	△83,168	126,073

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△0	752	752	1,130	14,453	132,834
会計方針の変更による 累積的影響額						—
会計方針の変更を反映した 当期首残高	△0	752	752	1,130	14,453	132,834
当期変動額						
剰余金の配当						△1,856
親会社株主に帰属する 当期純利益						16,433
連結子会社株式の取得 による持分の増減						—
新株予約権の行使						13
自己株式の取得						△5,016
自己株式の処分						0
自己株式の消却						—
利益剰余金から資本剰余金 への振替						—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	0	637	637	169	6,278	7,085
当期変動額合計	0	637	637	169	6,278	16,660
当期末残高	—	1,390	1,390	1,300	20,731	149,495

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	28,937	29,729
減価償却費	774	825
長期前払費用償却額	209	385
株式報酬費用	114	183
減損損失	47	186
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	75
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△682
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△37	32
受取利息及び受取配当金	△458	△1,241
支払利息	16	21
為替差損益 (△は益)	△649	△455
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,873	△76
棚卸資産の増減額 (△は増加)	58	△298
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,633	△1,722
未払又は未収消費税等の増減額	△954	△127
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	43	△704
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	677	1,409
その他	61	△226
小計	29,601	27,312
利息及び配当金の受取額	322	1,123
利息の支払額	△16	△21
法人税等の支払額	△11,247	△7,899
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,660	20,514
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△30,197	△44,535
定期預金の払戻による収入	28,978	35,169
有価証券の純増減額 (△は増加)	△711	△2,470
投資有価証券の取得による支出	△65	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△431	△617
長期前払費用の取得による支出	△261	△1,248
敷金及び保証金の差入による支出	△110	△577
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△334
その他	4	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,795	△14,610
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	210	500
長期借入金の返済による支出	△228	△219
自己株式の純増減額 (△は増加)	△5,024	△5,015
配当金の支払額	△3,822	△1,854
その他	△399	△443
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,265	△7,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	990	1,101
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,590	△27
現金及び現金同等物の期首残高	102,086	109,676
現金及び現金同等物の期末残高	109,676	109,648

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	台湾	北米	その他の地域	合計
55,136	25,249	18,537	5,001	1,579	105,505

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	韓国	台湾	タイ	北米	合計
138	78	421	123	106	123	992

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	台湾	タイ	北米	その他の地域	合計
45,001	41,039	19,449	14,752	3,762	1,310	125,315

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「アジア」に含めておりました「台湾」につきましては重要性が増したため、前連結会計年度から独立掲記しております。

また、当連結会計年度において、「アジア」に含めておりました「タイ」につきましては重要性が増したため、当連結会計年度から独立掲記しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	韓国	台湾	北米	合計
172	146	502	355	63	1,240

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「アジア」に含めておりました「韓国」、「台湾」及び「タイ」につきましては重要性が増したため、前連結会計年度から独立掲記しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり純資産額 (円)	1,894.36	2,127.98
1株当たり当期純利益 (円)	305.61	272.65
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 (円)	303.48	270.20

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	132,834	149,495
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	15,584	22,032
(うち新株予約権 (百万円))	(1,130)	(1,300)
(うち非支配株主持分 (百万円))	(14,453)	(20,731)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	117,250	127,463
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (株)	61,894,643	59,898,763

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	19,022	16,433
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	19,022	16,433
普通株式の期中平均株式数 (株)	62,242,781	60,275,198
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数 (株)	437,534	545,486
(うち新株予約権 (株))	(437,534)	(545,486)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概 要	—	—

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2024年2月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項を次のとおり決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の遂行及び資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図るため

(2) 自己株式の取得に係る事項の内容

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| ① 取得する株式の種類  | 当社普通株式                |
| ② 取得する株式の総数  | 2,200,000株 (上限)       |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 5,000,000,000円 (上限)   |
| ④ 取得期間       | 2024年2月15日～2024年3月22日 |
| ⑤ 取得方法       | 市場買付                  |